

2021年1月29日(金)開催

主催: 一般財団法人 日本ビルディング経営センター
JAPAN BUILDING MANAGEMENT INSTITUTE

第22回 新春特別ビル経営セミナー

ポストコロナに真価が問われるビル経営
～コロナ禍を超えて変革の機会に転じる～

新型コロナウイルス感染症と共存する現在、人や社会の価値観、企業のあり方は大きく変貌しつつあります。我々の働き方も否応なしに大きく変わりました。今後、コロナ禍が終息しても、この変化は逆戻りすることはないでしょう。

テレワークが急速に広まり、オフィス不要論が叫ばれる一方で、オフィスでなければできないことや、その存在意義が再認識されています。

こうした変化の先を見据えたとき、人々がビルに集い、働くとするれば、何が求められ、ビル業界はどのようにしてそれに応えられるのでしょうか。

本セミナーでは、各分野の第一線でご活躍の方々を講師に迎え、国内外の先駆的なスマートシティやスマートビルの事例を交えながら、ポストコロナ時代のビルのあり方についてご講演いただき、新しい働き方に対応するビル経営の姿を展望してまいります。

開催日時

2021年1月29日(金) 13:15~17:55
ライブ配信によるオンライン開催

定員

200名
(先着順)

参加費
(消費税込)

一般: 23,000円
日本ビルディング協会連合会会員/日本ビル経営管理士会会員: 12,000円
その他の後援団体(駐車協会、不動産協会、不動産証券化協会、日本FM協会)会員: 17,500円
2020年度ビル経営管理講座受講生: 17,500円

Webセミナー
無料受講付き

参加者は後日 BMI ネット・アカデミーで配信される
セミナー動画を無料で受講できます。

【後援】

- 一般社団法人 日本ビルディング協会連合会
- 一般社団法人 東京ビルディング協会
- 一般社団法人 全日本駐車協会
- 一般社団法人 東京駐車協会
- 一般社団法人 不動産協会
- 一般社団法人 不動産証券化協会
- 公益社団法人 日本ファンリタイムナレッジ協会
- 株式会社 住宅新報
- 株式会社 週刊住宅タイムズ
- 株式会社 ビル経営研究所
- 株式会社 不動産経済研究所

当センターホームページからお申込みください (<https://www.bmi.or.jp/>)。

プログラム

- 13:15 ~ 13:20 主催者挨拶
- 13:20 ~ 14:20 (60分)
ポストコロナの「働き方×オフィス」を考える
～コロナ禍収束後のオフィスのあり方～
(株)ザイマックス不動産総合研究所 代表取締役社長 中山 善夫氏
《休憩 10分》
- 14:30 ~ 15:30 (60分)
竹芝から始まるスマートシティ構想
東急不動産(株) 都市事業本部 スマートシティ推進室長 田中 敦典氏
《休憩 15分》
- 15:45 ~ 16:45 (60分)
(仮) ロンドンの街に溶け込む
パーティカル・ビレッジ 22 Bishopsgate
【日本語同時通訳付き】
リプトン・ロジャース・ディベロップメンツ
ファウンディング・パートナー スチュアート・リプトン卿
建設ディレクター ポール・ハーグラーヴス氏
PLPアーキテクチャー
ファウンディング・パートナー カレン・クック氏
《休憩 10分》
- 16:55 ~ 17:55 (60分)
ポストコロナにおけるビルの方向性
(株)野村総合研究所 グローバルインフラコンサルティング部
グループマネージャー 又木 毅正氏
コンサルタント 御前 汐莉氏

※主催者及び講師等の諸般の事情により講師の変更や講演のスケジュールが変更となる場合がございます。

講師紹介(敬称略)



なかやま よしお
中山 善夫 (株)ザイマックス不動産総合研究所 代表取締役社長

1985年に(一財)日本不動産研究所に入所、鑑定・コンサルティングに従事。2001年よりドイツ銀行の日本の不動産審査責任者。2012年より現職。不動産鑑定士、不動産証券化協会認定マスター、CRE、FRICS、MAI、CCIM。ニューヨーク大学大学院修了。



たなか あつふり
田中 敦典 東急不動産(株) 都市事業ユニット都市事業本部スマートシティ推進室室長

1992年東急不動産入社。大規模住宅地開発、マンション開発、渋谷再開発を経て2013年より東京ポータルシティ竹芝事業推進を担当。総務省2020年に向けた社会全体のICT推進に関する懇談会デジタルサイネージWG構成員。一般社団法人竹芝エリアマネジメント理事/事務局長、CiP協議会エグゼクティブパートナー。現在竹芝地区におけるスマートシティ事業推進を担当。



スチュアート・リプトン リプトン・ロジャース・ディベロップメンツ
ファウンディング・パートナー

ロンドン有数のデベロッパーであるスタンホープ社を創立したレジェンドとして、イノベーションやプレシメイキングなどの分野において第一線で業界を牽引。これまでに、ロンドンを代表する数多くの開発プロジェクトを手がける。



ポール・ハーグラーヴス リプトン・ロジャース・ディベロップメンツ
建設ディレクター

開発プロジェクトの設計・建設を統括し、22 Bishopsgate プロジェクトを主に担当。前職のスタンホープ社では、開発ディレクターとして、チズウィックパークやブルームバーグ本社ビルなど数々の受賞歴のあるオフィスビル開発に従事。



カレン・クック PLPアーキテクチャー
ファウンディング・パートナー

PLPアーキテクチャーを創立したパートナーの一人。ロンドンをはじめ、パリ、ベルリン、プラハなど、ヨーロッパで活躍し、ワークプレイスと公共空間づくりに注力。22 Bishopsgate では設計を統括し、独創的なアメニティやワークプレイスをデザインし、都市に開かれた超高層ビルを実現した。



また たかまさ
又木 毅正 (株)野村総合研究所 グローバルインフラコンサルティング部
海外インフラ開発グループ グループマネージャー

都市・モビリティ・エネルギー・設備・機器などのインフラ領域の事業戦略、アジアにおける産業・通商政策立案等の業務に従事。18年4月から現職。代表的な著作は、「デジタルツインを強みとした新たな場づくりによるデジタルゼネコンの実現(共著 知的資産創造 20年10月)」「デジタル時代のインド事業の位置づけ再考(日本機械輸出組合 JMC ジャーナル 18年10月)」。



みさき しおり
御前 汐莉 (株)野村総合研究所 グローバルインフラコンサルティング部
海外インフラ開発グループ コンサルタント

大手デベロッパーの都市開発構想の策定支援のほか、ハウスメーカーの経営戦略・事業戦略の策定支援に従事。2018-20年にかけて、NRIメディアフォーラムにて、住宅市場と課題の予測レポートを発表。主な著作は、「ポストコロナにおけるビルの方向性(共著 知的資産創造 20年10月)」。

お問い合わせ

一般財団法人 日本ビルディング経営センター 事務局
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F204区
電話 03-3211-6771(代)

○お申し込みいただいた個人情報は、今後、当センターのセミナー、書籍、講習会などのご案内などを送付させていただきます。ただし、ご要望があれば速やかに中止いたします。また、当該個人情報は厳正な管理下で安全に保管し、事前のご承諾なしに第三者に提供することはありません。